

晶粒内・粒界ともエッチングされるため、表面の凹凸が均一ではなく、かつぼやけたような状態であった。しかし、図4に示すように、「5X30」合金に対して梨地処理を施すと、結晶粒界が優先してエッチングされて、結晶粒の輪郭がくっきりと浮き出た均一な外観となり、これ

が高輝度梨地を実現した。

このような人間の目に映る高輝度・透明感・高級感がどのようなメカニズムで成立したかを定量的に把握するために3次元変角光度計を用いた拡散反射成分の測定を行った。「5X30」合金と1050に梨地処理し、陽極酸化処理した表面を対象に測定した結果を図5に示す。「5X30」合金では、 60° を中心として $40 \sim 80^\circ$

